

不透明な時代においても機能し続ける大学であるために

九州工業大学 名誉教授
尾家 祐二

第6 1回NII教育機関DXシンポジウム
2023.2.3

本日のお話

- コロナ前：学長就任時(2016.4以降)のお話
-どのような想いで、何に取り組んだか-
- 新型コロナウイルス感染症への対応(2020.2~)
- 組織の長として配慮したこと
- 今後、この経験をどのように活かすべきか
- 新しい大学のあり方や経営、教育、研究の方向性について

新型コロナウイルス感染症へ拡大前

学長就任時(2016.4)

学長に就任したとき 考えていたこと

教職員 | 安心して誇りをもって働ける場所に

学 生 | 多様な学びの機会と良質な学びを享受できる場所に

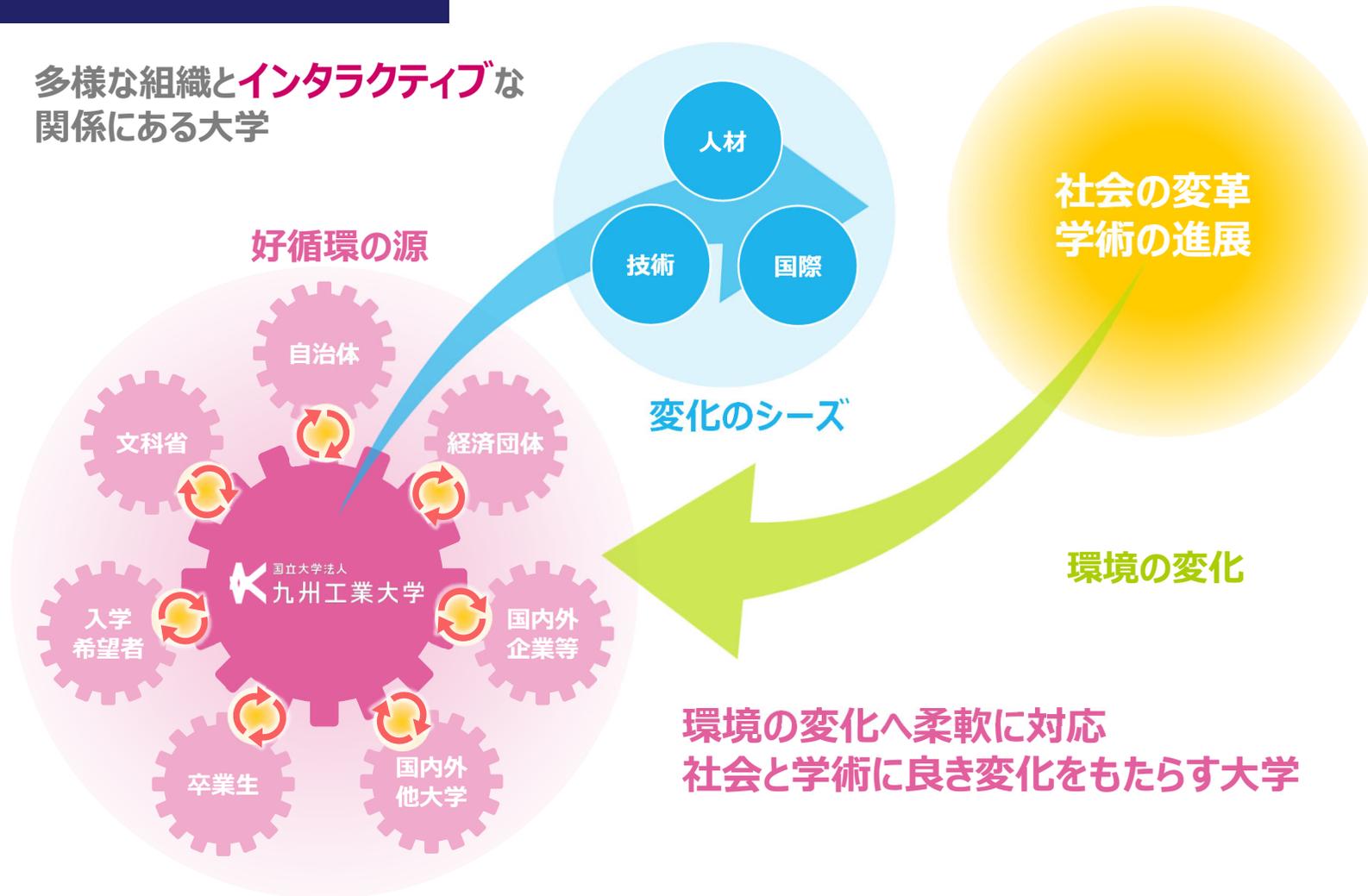
学外者 | 私たちをパートナーに選びたいと思える存在に

九州工業大学の概要(2022.5.1現在 大学のウェブ参照) :

- ・ 1909年(明治42年)明治専門学校として開校
- ・ 現在、2学部、3大学院
- ・ 学生数:5616名(学部:4048名、大学院:1568名)
- ・ 教育職員:356名、
- ・ 事務・技術職員:470名(内、半数以上は嘱託職員、パート職員等)

ビジョン

多様な組織と**インタラクティブ**な
関係にある大学



戦略的なトップ外交 (組織的連携のために)

11ヶ国・地域への訪問

26大学、3政府機関、3企業、4同窓会組織



16ヶ国・地域から来訪

21大学、7政府機関



グローバル人材育成

学習機会の提供充実

6年一貫教育
プログラム

クォーター制
の導入

海外派遣プロ
グラムの拡充

学習環境の提供充実

Campus on
X

X on
Campus



九工大の研究力強化 (組織的推進)

研究力の強化と活性化

学内研究支援事業	ジョイントリサーチプロジェクト	研究組織体制の改変
----------	-----------------	-----------

産業界等との連携制度

共同研究講座	学術コンサルティング	包括協力協定
--------	------------	--------

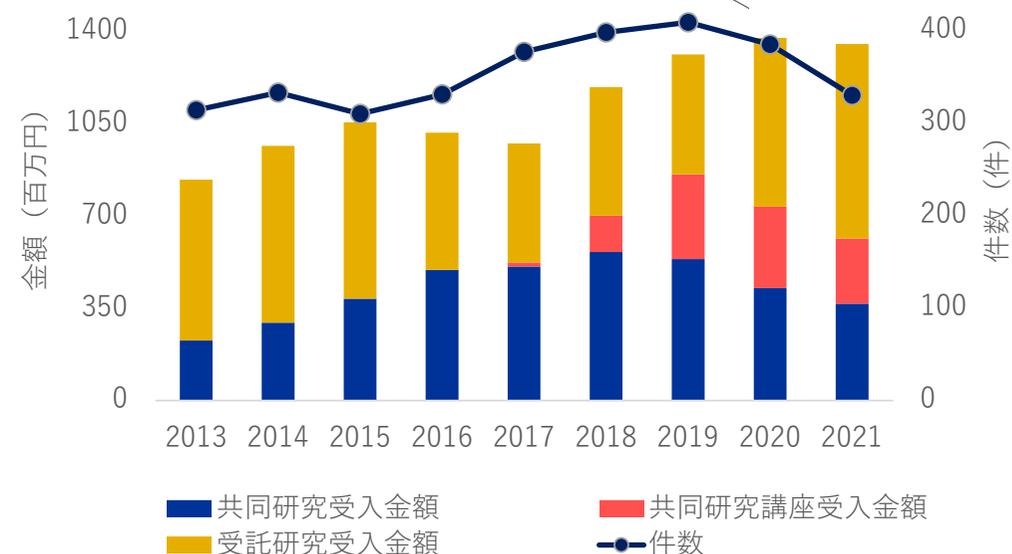
共同研究・
受託研究の
推移

1,377百万円
過去最高

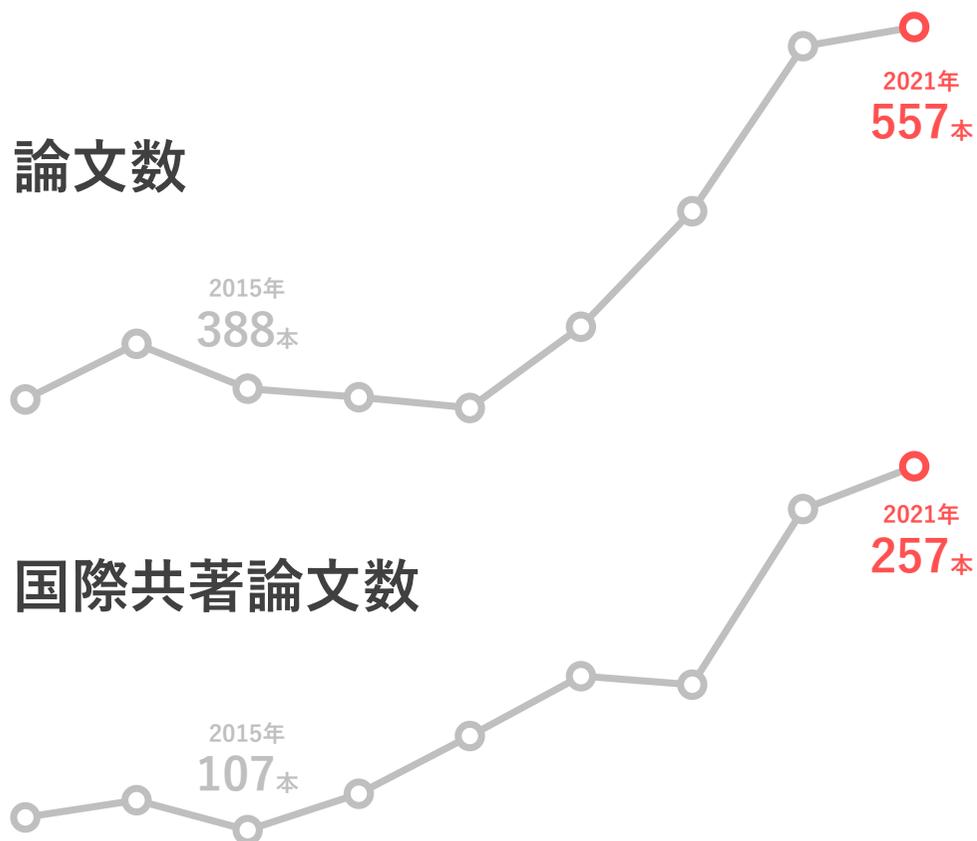
研究者
1人あたりの
共同研究
受入額

第4位
全国

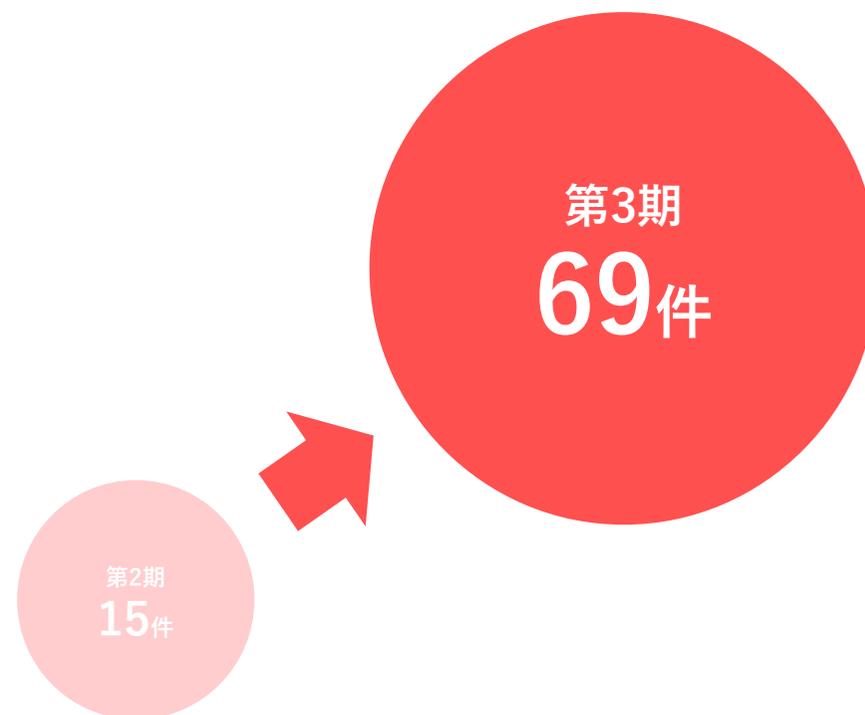
産学連携等実施状況調査
(2019年度実績)



論文 Scopus



国際共同研究



九工大のグローバル化：「特筆すべき進捗状況にある」

令和3年6月30日 国立大学法人評価委員会

国立大学法人・大学共同利用機関法人の第3期中期目標期間（4年目終了時）の業務の実績に関する評価結果（概要）

「優れた点」として取り上げた取組事例

九州工業大学 **評価：特筆**

○ 国際的な教育研究連携の高度化

約150校の全交流協定校との交流・連携状況に関して、6分野・11カテゴリー・56項目に及ぶ徹底した実績調査を毎年実施しており、連携実態のない交流協定校の整理を継続的に行いつつ、交流・連携が活発な協定校及び活発になる可能性が高い協定校との活動には組織的な経費支援を行い、国際展開を成長させている。



マレーシアアボラ大学との合同シンポジウム

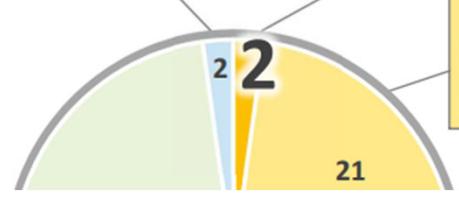
「その他の目標（グローバル化等）」の評定

その他の目標（グローバル化等）について、各法人における中期目標の達成状況は以下のとおり。

【おおむね順調に進んでいる】
佐賀、熊本

【特筆すべき進捗状況にある】
東北、九州工業

【計画以上の進捗状況にある】
北海道、帯広畜産、岩手、東北、筑波技術、千葉、東京農工、東京芸術、東京工業、お茶の水女子、長岡技術科学、金沢、岐阜、滋賀医科、京都、兵庫教育、山口、宮崎、琉球、奈良先端科学技術大学院、自然科学研究



「グローバル化」において「特筆すべき進捗状況にある」と評価された国立大学は86大学の内、九工大のみ

多様な入学者選抜 (多様な学生の受入れ)

特別選抜の新設拡大

総合型選抜Ⅰ

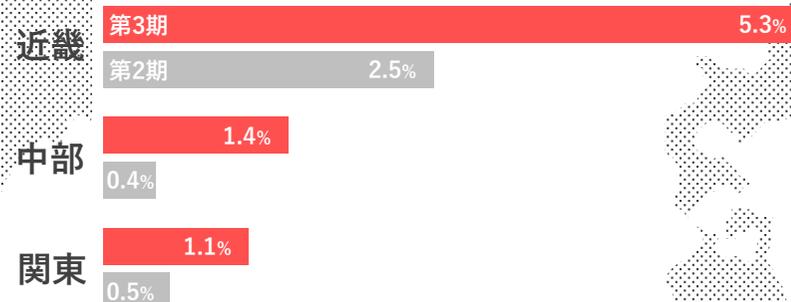
総合型選抜Ⅱ

国際バカロレア選抜

学外試験会場の新設

大阪会場

地区別入学者割合



関東・中部・近畿が増加

入学者は**全国**から

偏差値も前期・後期ともに
年々上昇傾向

本学の新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナへの対応

様々な課題の解決に向け、組織的に知恵を出し、
職員の協力により、困難な状況の中でも大学の機
能を果たし続けることができた。

遠隔授業

経済的支援

相談窓口

歓迎会

入学式

学位記授与式

在宅勤務

自粛要請



危機事象対策本部による対応状況

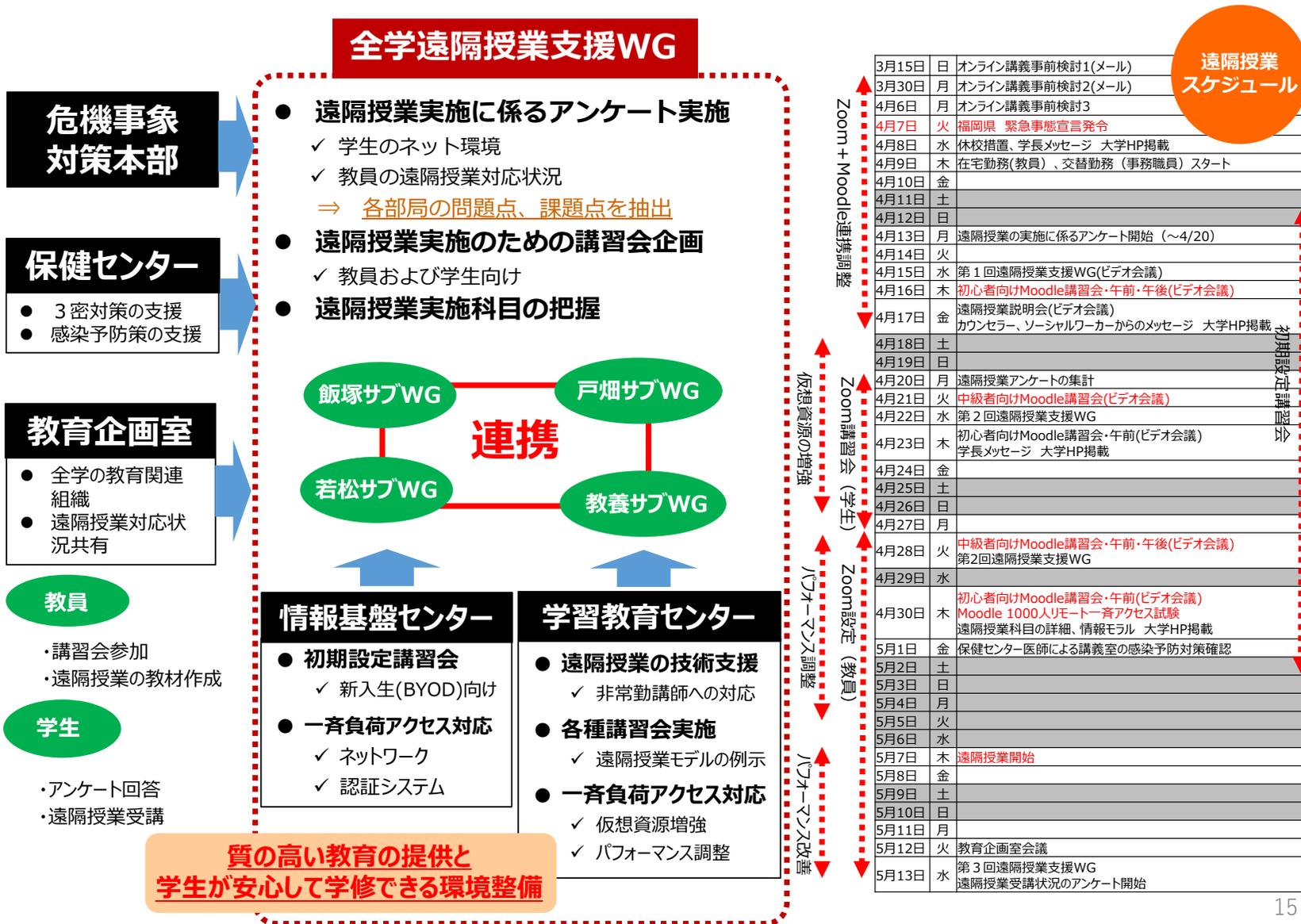
『危機事象対策本部』を設置 (2020年2月17日)

構成員：学長,全理事,工学研究院長,情報工学研究院長,生命体工学研究科長,
教養教育院長,産業医

関係部署と連携しつつ、機動的に対策を決定・実行

- 3月
 - ◎ 合同企業説明会 (3.4~5) 中止
 - ◎ 一般入試後期日程試験 (3.12) に係る対応及び公表
 - ◎ 令和2年度 学位記授与式 (3.25) の中止
 - ◎ 本学主催イベント等の中止
 - ◎ 海外渡航職員及び学生の把握
 - ◎ 職員・学生から罹患者等が発生した場合の対応検討
 - ◎ 外国からの入学予定者の把握及び対応
- 4月
 - ◎ 令和2年度 入学式 (4.7) の中止
 - ◎ 新入生オリエンテーション (分散開催)
 - ◎ 前期の授業開始日を5.7に延期, 前期 (1-2Q) の授業を原則遠隔授業にて実施
 - ◎ キャンパス内への入構、課外活動の禁止 (1Q終了まで)
 - ◎ 教育職員の原則在宅勤務 事務職員・技術職員等は最小限のシフト勤務開始
 - ◎ その他 緊急事態宣言発令に基づく対応
- 5月
 - ◎ 在学生への経済的支援 (給付型, 貸付型, 授業料免除, アルバイト等)

遠隔授業実施スキーム



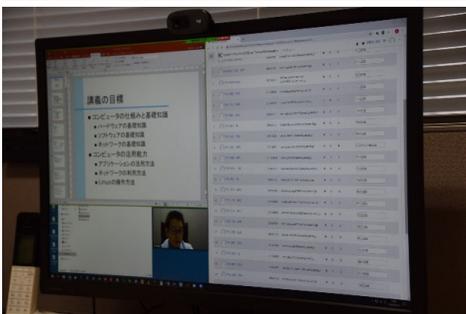
初期設定講習会

**遠隔授業
スケジュール**

3月15日	日	オンライン講義事前検討1(メール)
3月30日	月	オンライン講義事前検討2(メール)
4月6日	月	オンライン講義事前検討3
4月7日	火	福岡県 緊急事態宣言発令
4月8日	水	休校措置、学長メッセージ 大学HP掲載
4月9日	木	在宅勤務(教員)、交替勤務(事務職員)スタート
4月10日	金	
4月11日	土	
4月12日	日	
4月13日	月	遠隔授業の実施に係るアンケート開始(～4/20)
4月14日	火	
4月15日	水	第1回遠隔授業支援WG(ビデオ会議)
4月16日	木	初心者向けMoodle講習会・午前・午後(ビデオ会議)
4月17日	金	遠隔授業説明会(ビデオ会議) カウンセラー、ソーシャルワーカーからのメッセージ 大学HP掲載
4月18日	土	
4月19日	日	
4月20日	月	遠隔授業アンケートの集計
4月21日	火	中級者向けMoodle講習会(ビデオ会議)
4月22日	水	第2回遠隔授業支援WG
4月23日	木	初心者向けMoodle講習会・午前(ビデオ会議) 学長メッセージ 大学HP掲載
4月24日	金	
4月25日	土	
4月26日	日	
4月27日	月	
4月28日	火	中級者向けMoodle講習会・午前・午後(ビデオ会議) 第2回遠隔授業支援WG
4月29日	水	
4月30日	木	初心者向けMoodle講習会・午前(ビデオ会議) Moodle 1000人リモート一斉アクセス試験 遠隔授業科目の詳細、情報モラル 大学HP掲載
5月1日	金	保健センター医師による講義室の感染予防対策確認
5月2日	土	
5月3日	日	
5月4日	月	
5月5日	火	
5月6日	水	
5月7日	木	遠隔授業開始
5月8日	金	
5月9日	土	
5月10日	日	
5月11日	月	
5月12日	火	教育企画室会議
5月13日	水	第3回遠隔授業支援WG 遠隔授業受講状況のアンケート開始

遠隔授業等実践事例

5/7 遠隔授業開始



▲工学部1年生「情報リテラシー」必修科目



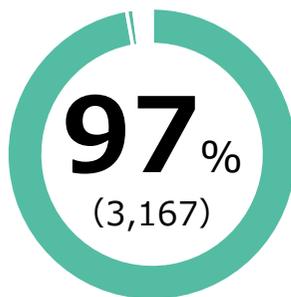
▲ Moodleによる講義資料掲載とZoomを用いた解説を行う非同期・同期の併用型授業を実施

5/13～ 遠隔授業アンケート

5/31集計 3,259名 全学回答率 58%

(※学部生 1年98% 2年71% 3年61%)

設問① 遠隔授業の受講状況 (遠隔授業を受けることができています)

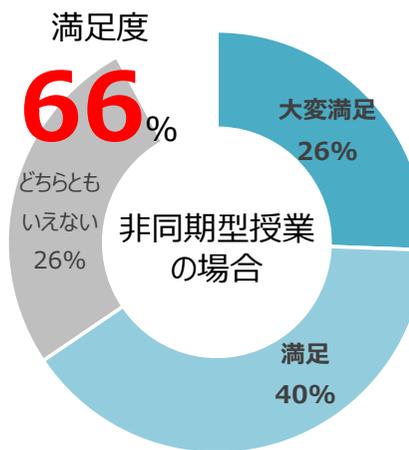
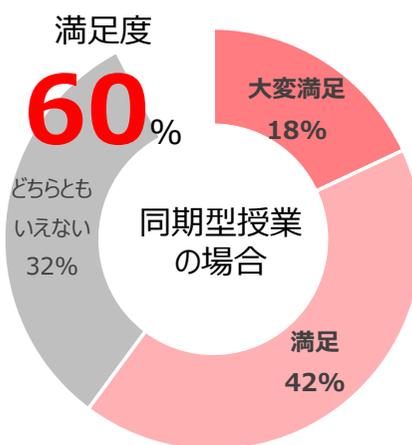


✓ 遠隔授業アンケートの集計結果により、受講状況や満足度について、良好に実施されていることがわかる。

✓ しかしながら、講義資料の受信や通信環境の課題も明らかになり、今後対応を進め、円滑な授業実施を図る。

ノートパソコン、Wi-Fiルーターの貸出(7/1現在)
ノートパソコン 5名 Wi-Fiルーター 19名

設問⑧ 遠隔授業の満足度



遠隔授業実施科目 学部 **275** 科目 (工学部 159科目・情報工学部 116科目)

(前期及び第1クォーター) 大学院 **104** 科目 (工学府 39科目・情報工学府 37科目・生命体工学研究科 28科目)

学生とのオンラインで様々な取り組み

<p>オンラインお昼休み (学部1年生の交流会)</p> 	<p>■学部1年生の交流会</p> <p>工学部と情報工学部の1年生を対象に、友達作りのきっかけの場として、オンラインお昼休みを実施しています。お昼ご飯を食べながら、自己紹介やお題に沿って自由におしゃべりしてもらう企画</p>	<p>オンラインお昼休み (海外留学シリーズ)</p> 	<p>■海外留学シリーズ</p> <p>海外留学を希望する学生を対象に、海外留学を経験した先輩の体験談や、海外と結んで語学研修の紹介など、海外留学の魅力を発信する企画</p>
<p>九州工業大学 Kyushu Institute of Technology ISC of Technology 情報基盤センター</p> 	<p>■zoom相談窓口</p> <p>先輩学生がICT講義環境についての質問に答えるzoom相談窓口を開設</p>	<p>オンライン留学相談会</p> 	<p>■海外留学相談会</p> <p>海外留学を希望する学生を対象に、zoomで面談を実施します。どんな海外派遣プログラムがあるか、費用や経済支援など、気軽に相談</p>

学長メッセージ ~慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを~

<p>TOBATA TeamsCafe Welcome! Mon to Fri 12:15-45</p>	<p>■工学部お昼休み参加型情報番組</p> <p>工学部学生のみなさんを対象に、工学部の同級生や先輩、先生方と接する場として、オンラインでの情報共有スペース「TeamsCafe」を毎日配信中</p>	<p>図書館学生サポーターによる 遠隔学習相談 @Moodle 受付中</p> 	<p>■附属図書館学生サポーターによる遠隔学習相談</p> <p>学習支援をしている図書館学生サポーターが、遠隔授業期間中はMoodle上で相談を受付中。チャットによるリアルタイム相談とフォーラム機能を利用した質問掲示板があり</p>
	<p>■情報工学部長の YouTube「学部長だより」</p> <p>安永学部長によるYouTubeによる履修登録や遠隔授業の解説など学生へのメッセージ配信（6/30にvol.14を配信）</p>	<p>ONLINE Orientation for International Students</p> 	<p>■生命体工学研究科 留学生オンラインオリエンテーション</p> <p>まだ来日できておらず不安を感じているであろう留学生に、キャンパスの雰囲気を感じてもらい、来日後にスムーズに日本の生活に馴染めるよう、情報共有とネットワーク構築を目的に実施</p>

組織の長として配慮したこと

改めて、学習、研究の源泉： 多様な相互作用を通じて、好奇心と探究心を磨き、成長し続ける

- ◎ 習得すること acquiring は、探求 inquiring の活動に対しては、つねに二次的であり、手段的である
- ◎ 教育の目的は人々が自分たちの教育を続けていくことができるようにすることである – 言い換えれば、**学習の目的と成果は成長の可能性の持続である** –
- ◎ 意識的に共有している関心が、**どれほど多く、また多様であるか**、そして他の種類の集団との**相互作用がどれほど充実し、自由であるか**、が重要。

デューイ著「民主主義と教育」岩波文庫

- ◎ 我々は、顕著な例に惑わされ、「必要は発明の母」という錯覚に陥っている。ところが実際の発明の多くは、**人間の好奇心の産物**であって、何か特定のものを作り出そうとして生み出されたわけではない。
- ◎ 飛行機や自動車をはじめとする、近代の主要な発明の多くはこの手の発明である。内燃機関、電球、蓄音機、トランジスタ。驚くべきことにこうしたものは、**発明された当時、どういう目的で使ったらいかががよくわからなかった**。

ダイヤモンド著「銃・病原菌・鉄」草思社刊 19

サイバーとフィジカル

◎サイバー空間、オンライン

ある明確な目的を達成するためには有効に機能する可能性が高い。

- － 知識獲得、ある種のスキル獲得、情報収集、情報交換など
- － 物理的位置に拘束されない参加、勧誘、依頼を容易にする
 - ・ 学習する人、働く人のライフスタイルが選択できる。
 - ・ 海外や企業など、遠隔地にいる人の協力を得やすい

◎物理的空間

私達が住む空間はこちら側である。

サイバー空間は、物理的空間の活動を支援、補助する空間である。

どのような資産が有効であったか

コロナ禍の中、大学の機能のある程度果たし続けることができた理由

◎ハード資産としては、

- ・ 社会において整備されていた、高速の情報通信インフラ等
- ・ 大学において整備されていた、学内外の高速ネットワーク、学習支援システムLMS等
- ・ 学生各自が保有していたパソコン（BYOD）とそれを支援するシステム整備

◎ソフト資産として、

- ・ 危機に対する組織的対応力
- ・ 様々な対応に関する関係者の主体性、解決策等に対する寛容力、許容力
- ・ オンラインによる教育、研究連携を可能にした、海外大学との信頼関係
- ・ 共同研究の継続を可能にした、産業界との信頼関係

新たなウイルス感染症拡大について

人類とウイルスの関係は、長い。絶滅できたのは天然痘ウイルスだけ。

極めてグローバル化した世界、人、ものが行き交い、相互依存性が増した世界における新たな感染症への対応は未知の課題。

今後、感染者数を減らしたい、できれば0にしたい。一方で、経済活動、社会活動もある程度活性化しなければ関連する犠牲者も出る。

⇒**経済活動、社会活動が再開されるが、再度の感染拡大のリスクはある。**

『危機的な問題については、結束を。重要な問題については、多様性を。あらゆる問題について、寛容を』
(冷戦を終結させたブッシュ第41代米国大統領の大統領就任演説の言葉)
今こそ、分断、孤立ではなく、結束し、多様な考え、感性を備えた人たちで知恵を出し合うことが大切

このような
状況の中

- 「慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを」
(2020.5.27 学生向けメッセージより)
- いかなる状況においても、大学の機能である教育、研究並びに社会貢献活動を滞りなく果たし続ける
- 大学の価値創造を検討、試行する

学生への学長メッセージ

新型コロナウイルス感染症への対応 / Important Notice on COVID-19を
更新しました

更新日:2020.06.10



English page is here (Notice to international students)

九州工業大学では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応すべく、2020年2月17日に危機事象
対策本部を立ち上げました。本対策本部を中心として在学生、教職員及び関係する皆さまの安全確保を
最優先に、大学として必要なあらゆる措置を迅速に講じてまいります。また、大学として決定した事項
はこのページに集約し、速やかにお知らせいたします。情報は随時追加され更新されますので最新情報
をご確認ください。

[更新情報]

- 2020.06.10 「経済的支援」のページを更新しました NEW
- 2020.06.09 「各種通知」のページを更新しました NEW
- 2020.06.09 「その他」のページを更新しました NEW
- 2020.06.04 「課外活動」のページを更新しました NEW

各種通知 | 遠隔授業

大学からの通知・連絡

- 2020.06.29 就職活動に関するお知らせ(第2報)
- 2020.06.29 2020年度における九州工業大学インターンシップガイドライン(第2報)
- 2020.06.24 第2クォーター以降の新型コロナウイルス感染症への対応について
- 2020.06.09 緊急学生アンケート(学生生活、健康、修学編)について
- 2020.05.29 緊急事態宣言解除後の本学の対応について(第2報)
- 2020.05.27 学長メッセージ～慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを～
- 2020.05.15 緊急事態宣言解除後の本学の対応について
- 2020.04.30 令和2年5月7日(木)以降の本学の対応について
- 2020.04.30 遠隔授業における情報モラルについて
- 2020.04.23 学長メッセージ～この危機を好機に変える柔軟な発想力を～
- 2020.04.17 カウンセラー、ソーシャルワーカーからのメッセージ(在学生はごちら/新入生はごちら)
- 2020.04.10 就職活動に関するお知らせについて
- 2020.04.08 学長メッセージ～緊急事態宣言の発令をうけて～
- 2020.04.08 緊急事態宣言の発令に基づく本学の対応について
- 2020.04.06 新歓コンパ(等)の自粛、国内移動の制限、課外活動等の禁止の要請
- 2020.03.24 令和2年度前期授業科目の受講における注意事項

学長メッセージ～この危機を好機に変える柔軟な発想力を～

更新日:2020.4.23

学長メッセージ ～この危機を好機に変える柔軟な発想力を～

学生のみなさん

九州工業大学長
尾家 祐二

本学ではこの4月、学部、大学院に1,647名の新入生を迎えることができました。学部における女子学生につ
いては、15%を超える153名(3年次編入学生を含め)が入学し、留学生は12カ国から55名が入学しました。
新入生の皆さんの入学を大変嬉しく思い、心から歓迎します。学部・大学院の学生総数は、42カ国からの留
学

学長メッセージ～慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを～

更新日:2020.5.27

学長メッセージ ～慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを～

学生のみなさん

九州工業大学長
尾家 祐二

本学は、政府が4月7日に発出しました緊急事態宣言、およびその後の福岡県による緊急事態措置の重要性およ
び趣旨を重く受け止め、これまで対応してまいりました。具体的には、今年度の授業開始日を5月7日まで遅ら
せ、かつ大学への入構を必要最小限に抑えるなどの措置を行うなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に
努めてまいりました。

福岡県では5月15日に緊急事態宣言が解除され、この度、5月25日には全国的に、緊急事態宣言の解除がな
されました。ただし、福岡県からの要請では「徹底した感染対策を実施する」ということが条件になっていま
す。大学は非常に多くの人々が集う場所です。本学は、3キャンパスにおいて、6,000名を超す学生諸君、職
員、関係される様々な方々が活動しています。さらには、これまで産業界との交流、海外をはじめとした他大
学との交流を促進し、多様な人達が集うキャンパス作りを目指してきました。今後においても、感染の第2波
等が予想されており、大学として引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、段階的な規制の解除
を行っていくことが必要と考えています。

今後、この経験をどのように活かすべきか

今回の変化について考える

距離を障害とさせない技術、制度、文化が必要になった

【2050年の世界－英『エコノミスト』は予測する】の中で、通信および情報技術によって、「距離は死に、位置が重要になる」（第19章のタイトル）と指摘しており、「人が絶えずつながり、多くの意味で距離がかつての重要性を失った世界だ。しかし、距離が死ぬと奇妙なことが起こる。人と物の物理的な位置が、いくつかの点でかつてない重要性をもつようになるのだ。」と述べている。

危機を好機に

- 距離の制約を無くし、そのメリットを最大限に活かす
- 学ぶ場所、研究する場所、働く場所であるこの場所（大学）の価値を高め、新たな価値を創造する

未来思考キャンパス： 少し先の未来を感じ、考える

“未来思考”の先端設備

無人店舗
con-tech

ローカル
5Gテスト
ベッド

Beyond
5Gテスト
ベッド

“未来思考”の先端施設

GYM
LABO

ポルト棟

環境エネ
ルギーハ
ウス



GYMLABO: 多様な機会に満ちた空間の創造



1909年 明治専門学校 開校
1959年 創立50周年
ピアノ(ベーゼンドルファ)寄贈
1965年 体育館 建設

九工大が持つ「人材・知識・技術・設備を
有機的に結びつける交わりの形成拠点
として、設備も機能も オープンにそして
フレキシブルに活用できる施設

2019年 創立110周年 (計画開始)
2021年春 着工
2022年5月26日 開所

新型コロナ
パンデミック

名称の由来

GYMLABO (ジムラボ)

GYM (体育館) + Laboratory (研究室)

GYMLABOの利用状況

2022.7.28

【九州工業大学 PRESS RELEASE】

**GYMLABO(ジムラボ)が運用2ヶ月で
利用者10,000人を突破！**

オープンから2ヶ月で延べ利用者数は
10,119人、複数回利用者を省いた実利用
者数は1,773人を記録しました。

これは九工大生の約3人に1人が利用して
いる計算になります。

※土日の利用者はカウントせず

利用者の67%は2回以上の利用者で、平均
利用回数は7.7回でした。

学生生活の一部にGYMLABOの存在があ
ることがわかります。



2022年12月末までに

利用者のべ**17,643**
名

会員登録者**2,256**名



学部・学科を超えた交わりの形成
他大学の学生の利用も

ITエンジニアリングスキルアップ講座 (Kyutech Code Lab(KCL))： 学びのコミュニティ形成と産学連携による支援

2022.12時点
118名参加
(学部1年～修士2年)

「世の中の課題をITで解決できるエンジニアの育成」を目指した正課外教育プロジェクト

3つの学習フェーズ

① **学生同士で学ぶ** 自己学習やグループでプログラミングを学ぶ。

② **企業とOB/OG から学ぶ** OB/OG エンジニアから学ぶIT エンジニアセミナーや、MeetUp で企業の方の話を聞き、より実践的なキャリアを学ぶ

③ **アウトプットして学ぶ** ピッチコンテストでアイデアや自作のプロダクトを発表、OB/OG 等からのフィードバックもあり試行錯誤して学ぶ

企業と学生の接点

➡ オンラインや対面でのMeetup (座談会、説明会、勉強会) の実施

KCLパートナー企業一覧 ※敬称略、50音順

NTTデータ九州 オイシックス・ラ・大地 オービック Qtnet 京セラ SUMCO
GMOインターネットグループ トヨタ自動車九州 日鉄ソリューションズ
パイプドHD ファイバーゲート 村田製作所 ラック Relic 外資系IT企業



Qtnetチャレンジパーク訪問
(KCLの遠足)



GMOインターネットグループ
北九州オフィス訪問 (KCL
の遠足)

若手工学アカデミー： 自律的活動を尊重し、個々の力を組織の力に

『若手の、若手による、若手と九工大の未来のための組織』（2020年度発足）

若手教職員が自律的に運営 40歳未満の全教職員で組織

- 職種やキャンパスを越えたコミュニケーションの活性化
- 個人のスキル向上
- 若手ならではの視点で大学改革に取り組む
- 学長、理事との対話

TOPIC1

「2040年の九工大を考えよう」を開催

計3回開催 延べ56名参加

ワークショップで出た意見は九工大ビジョン2040に反映

TOPIC2

若手教職員・学生対象に グラント公募

九工大が抱える課題の解決に係る事業を募集（応募：10件）

計8件の採択事業に対して計3,605,000円を助成

新しい大学のあり方や経営、教育、研究 の方向性について

不透明な時代に求められる能力

不透明な未来『VUCA』 〈OECD Education2030〉

※ VUCA : 不安定(Volatility)、不確実(Uncertainty)、複雑(Complexity)、曖昧(Ambiguity)

【社会を変革し、未来を創造する「変革力」のある
コンピテンシーを備える人材】

新たな価値を
創造する力

対立やジレンマ
を克服する力

責任ある行動
をとる力

- 
- 学ぶ、研究する源泉を大切に
 - 孤立、分断せず、相互作用を起こす交流を
 - 試みることを尊重し、修正する能力を育成
 - 失敗を許容し、権威主義的ではなく、柔軟な社会

私たちは、ほんの少し前の未来しか見渡せない。しかし、私たちが試みなければならぬことがたくさんあることは、明らかである。

アラン・チューリング「計算機と知性」1950

Alan Turing, "Computing Machinery and Intelligence," Mind 49, pp.433-460, 1950.

高橋昌一郎著「ノイマン・ゲーデル・チューリング」筑摩選書

不透明な時代においても大学が機能し続けるために

◎学ぶ、研究する源泉を大切に

好奇心、探究心を育む多様な機会と設備、施設に満ちた大学

◎孤立、分断せず、相互作用を起こす交流を(DNAの進化ではなく、社会・組織の中で学んで進化する)

多様な人たちが交流し、互いが変化する機会に満ちた大学

-産業界、地域、国内外の大学との相互理解を深め、連携の機会を増やす

◎権威主義的ではなく、柔軟に。試みることを尊重し、修正する能力を育成

試してみる、自律的に活動することを促進し、失敗を許容し、修正する文化を醸成。新たなよい事例を柔軟に認め、評価する姿勢

◎最新ICT技術の活用は積極的に

普段から、様々な状況においても、よりよい研究、学習環境を提供できるように準備し続ける。



国立大学法人

九州工業大学